



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第17回 通算1225回 平成23年11月1日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/18 修正出席率
		56名	35名	70%	89.8%

ゲスト：地区ロータリー財団委員会委員長 深谷友尋さん ビジター：(なし)

会長あいさつ

山城康司会長



こんにちは。昨日、世界の人口が70億人になりました。国連人口基金は、この日に生まれたすべての赤ちゃんを「70億人の1人」にし、同基金の東京事務所は日本国内でこの日に誕生した赤ちゃんを対象に、希望者に認定書を発行するそうです。今世紀中に100億人を突破すると予想されています。

土井昌司会員、太田稔会員、鈴木啓仁会員が、昨日、42.195kmのマラソンを完走されたそうです。おめでとうございます。土井会員は大阪マラソン、太田会員と鈴木会員は大井川マラソンに参加。そして土井会員は4時間を切ったの完走だそうで、素晴らしい記録です。やはり健康が第一だと思います。また今月27日に本宮山道場を行います。近日中に案内しますので、是非ご参加を頂きたいです。

金制度について卓話を頂きます。今年も100ドル寄付のお願いの案内もさせていただきます。今まで個人名での寄付でしたが、法人名の寄付もでき、また税制上の優遇措置も取られています。ロータリー財団へのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

卓話「未来の夢計画について」

地区R財団 深谷友尋委員長

本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。今日からロータリー財団月間です。



2011～12年度の国際ロータリーの強調事項は、家族、継続、変化です。

ロータリー財団は1917年に全世界的な規模で慈善・教育・その他社会貢献の分野で良いことをする為に基金をつくらうと呼びかけ設立し、間もなく財団も100年を迎えます。そして大きくプログラムを変更しました。財団の大きな特徴は持続可能な成果を生むということです。今までの単年度事業が一年で終わらないようなプログラムを考えて頂きたいということです。プログラムと運営を簡素化されました。簡素化というよりもIT化されたご理解ください。決して簡単になった訳ではありません。申請、承認がITによって行われるようになりました。世界のニーズを高めるために最大の奉仕活動が求められます。

ロータリー財団は自分たちのものであると

幹事報告

滝下 勲幹事

理事会報告

ほーほう子ども音楽祭の協賛
高校駅伝の応援支援

ロータリー財団担当例会

委員長あいさつ

太田稔委員長

今月はロータリー財団月間です。本日は地区のロータリー財団委員会の深谷委員長をお招きしまして、財団の未来の夢計画、新補助

いう認識を持って頂きたいです。財団はただ寄付するだけだというご発言が多くありました。この度の新地区補助金制度の「未来の夢計画」は、それを解消しています。ロータリアンが自ら寄付したお金を、自らの奉仕活動に使うというプログラムに変わってきました。このプロジェクトの大きな特徴は、前年度に事業の計画を立てるということです。また財団活動の資金が、教育的プログラムよりも、人道的プログラムの方が多くなってきたことも特徴です。寄付金をどのように使用するかを決定する自由を寄付者に与えています。これはロータリー財団だけです。現在は選ばれた地区だけの3年間の試験期間ですが、2013年度には全世界で始められます。

「未来の夢計画」は、地区内の全ロータリークラブから寄せられた年次寄付と恒久基金寄付が3年後にシェアシステムにより、国際資金50%地区活動資金50%となり、地区活動資金をグローバル補助金と新地区補助金に分けています。当地区の財団の考え方は、地区活動資金からポリオプラスへの寄贈や世界平和フェローシップへの寄贈もしていますので、国際資金からパッケージグランドを行って、年次寄付の75%を活用しています。東日本大震災の復興活動も、このパッケージグランドを使用することができます。すでにこの資金から、陸前高田病院へ医療器具購入に10万ドルが使われています。このように75%が我々の地区に帰ってくるのです。以前は20%でしたから大きな進化だと思います。

このように活動の基盤は、年次寄付、恒久基金、ポリオプラス、大口寄付です。この地区のロータリアンの皆様にご理解を頂けております。日本の寄付額は、日本の寄付額の9%にあたり、ロータリー活動が活発であるということにもなります。豊川宝飯RCの皆様方からの多額なご寄附に感謝申し上げます。当地区の一人あたりの寄付額は、この制度に変わりまして、増額しております。この制度の素晴らしいをご理解頂けていると思います。地区の補助金の状況は、63クラブから新地区補助金の申請がありました。国際親善奨学生が1名。グローバル補助金は、職業研修チームをアメリカのヒューストンのメディカルセンターに5名派遣しました。今年度はオーストラリアに6名派遣する予定です。地区のWCS委員会からグローバル補助金の申請があり執行します。東日本大震災の復興支援も

行います。海外の支援の申請もあります。

来年度に東日本に大きく支援をしようという計画がありますが、東日本震災の復興支援活動を集約して、東日本大震災の支援チームが間もなく発足します。地区大会で発表があると思います。リーダーは松前ガバナーです。被災地の情報を各クラブに公開することによって、クラブの活性化と同時に支援活動の円滑化を図ろうということで準備をしています。

ロータリー財団への寄付は、年次寄付、恒久基金、ポリオプラス、大口寄付です。この4月から設立しているロータリー日本地震災害復興基金への寄付は、財団の年次寄付ではありませんので、お間違えの無いようお願いいたします。ですが、個人、法人それぞれ税制上の優遇措置は受けられます。そして、どちらの寄付も個人のポールハリスフェローの認証ポイントにはなりますのでよろしく願います。

「未来の夢計画」の良いところは、従来は国際ロータリーが決めたプログラムを我々が行っていました。これからは、我々が自らプログラムを計画・申請をするということです。重点6分野という規制枠はありますが、中身はすべて自分たちで決められるのです。このロータリー財団活動にご理解ご協力をお願いしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

地区ロータリー財団 HP

<http://www.rotary2760.org/fd/index.html>

ニコニコボックス

深谷友尋さん R財団へご理解ご協力を
伴 辰三会員 海水からレアメタル回収開発し
小野喜明会員 ほーほう音楽祭の協賛御礼
太田 稔会員 本日の例会を担当します
小田伊佐浩会員 職場例会の御礼
鈴木啓仁会員 入会記念日を祝って頂き

クラブ目標：会員増強純増 2名

クラブ目標：R財団寄付額 \$100/人

現在の状況

会員増強・・・・・・・・・・純増1名

R財団寄付額・・・・・・・・・・\$10/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。